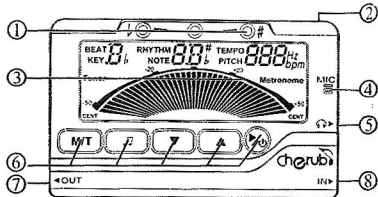


# WMT-32C Metro-tuner 取扱説明書

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。  
正しい使用方法で末永くお使い頂く為に、本取扱説明書を必ずお読みください。

## 各部名称



- LED インジケータ
- ボリュームコントロール
- 液晶ディスプレイ
- 内蔵マイク
- ヘッドフォンジャック
- ボタン

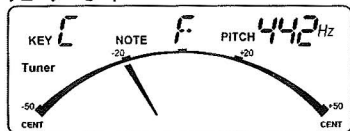
- MT** メトロノーム/チューナー切替ボタン
- R** リズム/チューニングキー設定ボタン
- A** ピッチ調整ボタン
- V** ピッチ調整ボタン
- ON/OFF** 電源/メトロノーム再生/停止ボタン

- アウトプット端子
- インプット端子

## 操作方法

- ON/OFF** ボタンを約1秒間押し、電源をONにします。
- MT** ボタンを約1秒間押し、チューナーモードとメトロノームモードを切替ることが出来ます。

### ・チューナーモード

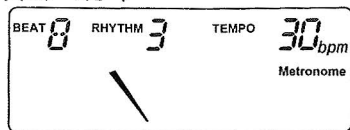


- MT** ボタンを押して、チューニングキーを選択して下さい。

KEY表示: C... クロマチック  
F, B $\flat$ , E $\flat$ ... 管楽器類

- A** と **V** ボタンにてピッチを調整します。  
ピッチ範囲(A=430~450Hz)
- 内蔵マイク、クリップマイク、または楽器をインプット端子に接続し、チューニングを行います。
- チューニングしたいキーが液晶に表示された状態で、液晶の針が中心になるように音を合わせて下さい。LEDインジケータの中心(緑色)が点灯し、液晶全体が緑色になります。

### ・メトロノームモード

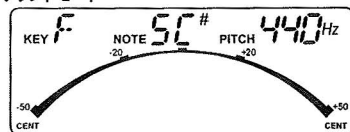


- MT** ボタンを数秒間押し、メトロノームモードを選択します。
- ON/OFF** ボタンを押すと、メトロノームが作動します。
- A** と **V** ボタンでテンポの調整が可能です。(30~250)
- R** ボタンを押して、リズムパターンの変更が可能です。(0~8)

リズムパターン	0	1	2	3	4	5	6	7	8

- MT** ボタンでビートを変更することが可能です。(1~9)

### ・サウンドモード



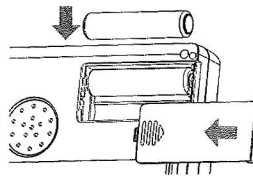
- チューナーモード時、**ON/OFF** ボタンを押すとチューニングキーの音を鳴らすことが出来ます。
- MT** ボタンを押し、チューニングキー(C, F, B $\flat$ , E $\flat$ )を選択して下さい。
- A** と **V** ボタンで、音階を変更することが可能です。(2A~6A)

## 仕様

チューニングタイプ: クロマチック  
測定範囲: A0(27.5Hz)~C8(4186Hz)  
チューニングキー: C, F, B $\flat$ , E $\flat$   
キャリブレーション機能: 430~450Hz  
ビート: 0-9拍子  
リズム: 0-8  
テンポ: 30~250BPM  
サウンド: 2A~6A  
測定精度:  $\pm 1$ セント以下  
メトロノーム精度:  $\pm 1$ セント以下  
消費電力  
チューナーモード: 10mA以下  
メトロノームモード: 50mA以下  
サウンドモード: 60mA以下  
電源: 3V(単4電池x2)  
外形寸法: 100(L)×63(W)×19(H)mm  
重量: 70g(本体のみ)

## 電池の取替え方

液晶画面、バックライトが薄暗くなってきたら、電池の交換時期です。下図を参照に、電池を交換して下さい。



## 付属品

- ・本取扱説明書
- ・クリップマイク
- ・動作チェック用 単4電池 x 2



## 安全上のご注意と注意事項

あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防ぐためにご使用前によくお読みになり製品を正しく安全にご使用ください。

火災、感電、けが、故障の原因になりますので改造、修理、分解はしない。

感電の原因になりますので水滴のついた手でスイッチ操作や水まわり、風呂場での使用はしない。

破裂、発火、発熱の恐れがありますので電池を火の中に入れない。

故障の原因となりますので電池は+-を正しく装着しましょう。

長時間使用しない時は電池を外しましょう。漏液等が故障の原因になります。

本体、スイッチ、液晶画面に無理な力を加えたり、落としたりしますと故障・けがの原因となります。

次のような状況、場所での使用、保存は故障の原因となりますので避けてください。

(直射日光のあたるところ、暖房機器の近く、発熱する機器の上など温度が極端に高い場所)

(ほこり、ごみなどの多いところ)

(風呂場、洗面所、濡れた床など水気、湿度の高いところ)

### ・チューニング時の注意

(クリップマイクを使用する時は他の振動がない位置チューニングしたい楽器のみの振動を感知しやすい位置に装着して下さい。チューニングがしにくい場合は位置を変更するなどして下さい。)

(周囲の雑音や他の電子楽器からのハムノイズを拾い液晶画面がチューニング時の様な表示が出る場合がありますが故障ではありません。

楽器の音を出せば正確にチューニング出来ます。)